

にっこり笑顔

発行：校長 菅 昌徳



【修学旅行に行ってきます！！】

11月、長崎県内の新型コロナ感染の状況が落ち着き、学校での校外学習も少しずつ実施するようになってきました。中学部では、3年生の修学旅行について検討を十分に行い、県内の見聞を広げることを目的に11月10日から12日の2泊3日で佐世保、島原方面への旅行を実施しました。



10日の出発式では、代表の生徒が「3日間の旅行では、アトラクションや美味しい食べ物を楽しみ、たくさんの楽しい思い出をつくってきます」と元気よく発表してくれました。出発前に降り出していた雨も、生徒たちの思いを受け止めてくれたのか、バスが発車する頃には、晴れ間も見えていました。少し緊張した様子に「大丈夫だよ、たくさんの体験を楽しんできてね」との思いで見送りをしました。保護者の方にも笑顔で見送っていただきました。



解散式では、代表の生徒が「私はアトラクションが一番楽しかったです。お風呂は気持ちよかったです。楽しい思い出ができました」と発表してくれました。3日間の旅行を終え、帰ってきた生徒たちの笑顔に、まず元気に帰ってきてくれたことの安堵とそれぞれが楽しめたのだという喜びを感じました。

【初めての現場実習】

高等部では、2・3年生は3週間、1年生は2週間の予定で現場実習が始まりました。1年生は、初めての実習です。それぞれが自分のやりたいことを担任の先生と話し合いながら実習先や実習中の目標を決めることができました。



実習前日に校長室で実習先と目標を発表してくれました。3年生は最後の実習ということもあり、実習先の仕事に責任を持って取り組みたいという気持ちを感じられました。2年生は、不安少々自信少々といった緊張感と期待感を感じました。1年生については、「初めてで不安なんです」と言わんばかりの強ばった顔で発表をする生徒も見受けました。「失敗なんて何もないんだよ、やってみて確かめることで、できることが増えていくんだよ」という思いで、生徒たちに「行ってらっしゃい」と声掛けをしました。

生徒たちからは元気よく「いってきます、がんばります」と返事が返ってきました。20日、実習を終え22日の朝に全員が元気よく登校しました。生徒達は、やり遂げたという自信に満ちた顔をしていました。

今日の日記（11月15日）

登校指導で立つ横断歩道の向かいにあるバス停にバスが止まり生徒たちが下車する中に見慣れない生徒と父の姿「どうしたんだろう？」と見ていると父が行ってらっしゃいと手を振る姿、その後、父は私の方へ「ステップ2ですか」と声掛けをすると「はい！」と笑顔、私も笑顔になりました。4月に入学して親子で登校が始まった生徒の成長を共有できたような気持ちになりました。（自己満足かもしれませんが・・・）

本人の成長と保護者の本校理解と協力を改めて深く感じた出来事でした。